

第 36 回 日本救急医学会 中国四国地方会

The 36th Japanese Association for Acute Medicine Chugoku-Shikoku district meeting

支える
— 地域包括ケアシステムと救急医療 —



会期 2020年10月23日(金)
会長 山森 祐治(島根県立中央病院)

プログラム

プログラム

特別講演 1

座長 志馬 伸朗（広島大学大学院 救急集中治療医学）

SL1 地域と大学を結び世界に発信する救急医学を目指して
岩下 義明
島根大学医学部救急医学講座

特別講演 2

座長 西山 謹吾（高知大学医学部 災害・救急医療学講座）

SL2 地域包括ケア時代における救急医療の在り方
山本 五十年
医療法人救友会 湘南伊勢原クリニック

教育講演 1

座長 廣橋 伸之（広島大学 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 放射線災害医療開発研究分野）

EL1 被災地を支える災害時の保健医療
石井 美恵子
国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻 災害医療分野

教育講演 2

座長 本間 正人（鳥取大学医学部 救急災害医学）

EL2 外傷診療教育の進化とこれからの社会に求められる教育体制
～地域における外傷診療のレベルを「支える」仕組み作り～
渡部 広明
島根大学医学部附属病院 高度外傷センター

教育講演 3

座長 寺西 正充（島根県立中央病院 薬剤管理科）

EL3 救命と AMR 対策の狭間での抗菌薬治療
福家 良太
イムス明理会仙台総合病院 内科

教育講演 4

座長 松井 賢（島根県立中央病院 放射線科）

EL4 災害医療これまでこれから
小早川 義貴
国立病院機構災害医療センター 災害医療部福島復興支援室（兼）厚生労働省DMAT事務局

シンポジウム

座長 三村 誠二（徳島県立中央病院 救急科）

今岡 桂子（島根県立中央病院 入退院支援・地域医療連携センター）

SY-1 出雲圏域救急医療の現状と課題

中本 稔

島根県出雲保健所

SY-2 医療ネットを用いた「高齢者」と「高齢者に携わる救急医療」の両方を「支える」仕組み作り

杉浦 弘明

出雲医師会 すぎうら医院

SY-3 総社市高齢者見守り支援システムを活用した奏功事例

細川 遼司

総社市消防本部

SY-4 感染症治療終了後の入院期間延長に関わる因子：後方視的観察研究

石飛 奈津子

島根県立中央病院 救命救急科

SY-5 救急医療における MSW の役割

武田 和昭

島根県立中央病院 入退院支援・地域医療連携センター 社会福祉士

SY-6 「地域包括ケアシステムと一体化した救急医療体制を目指して」

長岡 敏信

下関市立下関保健所（下関市保健部）保健医療政策課 （※現所属 下関市消防局）

一般演題1 病院前救急①

- 座長 山本 智靖（大田市消防本部 警防課）
岡田 稔（鳥取県立中央病院 救命救急センター）
- 01-1 妊娠高血圧症候群救急搬送時の工夫について
渡邊 康之 今治市消防本部
- 01-2 修正下顎挙上法の示指法と母指法の確実性、難易度の比較検討
吉川 孝次 広島国際大学保健医療学部救急救命学科
- 01-3 エアストレッチャー®の屋内使用の有用性についての検討
河村 丈一朗 広島国際大学保健医療学部救急救命学科
- 01-4 心停止前の静脈路確保件数の検証（アンケート）結果をふまえた取り組みについて
木下 道晴 愛媛県新居浜市消防本部
- 01-5 交通外傷の傷病者に対してショック輸液の更なる一手を再認識した症例
渡邊 実 岡山市消防局
- 01-6 先入観に囚われた若年者の急性心筋梗塞の一例
生馬 朋恒 出雲市消防本部

一般演題2 ACP、地域包括ケア

- 座長 吉井 友和（出雲市消防本部 警防課）
福田 靖（徳島赤十字病院 高度救命救急センター）
- 02-1 DNAR の意思表示がある傷病者の心肺停止事案について
一木 将史 広島市消防局
- 02-2 心拍再開後の治療方針に思慮を要した在宅酸素療法中の慢性閉塞性肺疾患を有する高齢者の病院外心停止の一例
平松 俊紀 飯塚病院 集中治療科
- 02-3 救急現場における延命処置拒否の現状分析と展望
黒崎 剛広 出雲市消防本部
- 02-4 救急現場での心肺蘇生中断の対応の検討 ー日米比較ー
恩地 康平 広島国際大学保健医療学部救急救命学科
- 02-5 認知症傷病者が繰り返す救急要請を、地域包括ケア推進室と協力して、要請件数が減少した事例
角南 文彦 倉敷市消防局玉島消防署
- 02-6 救急外来と地域包括支援センターとの連携による成果と課題
品川 由美子 独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院救命救急センター救急外来
- 02-7 急性期患者の自宅復帰に至る断続的な一連の医療を目指して
（救急～集中治療～病棟～地域包括～在宅復帰）
本郷 貴識 岡山済生会総合病院 救急科

一般演題3 救急疾患；感染症

座長 楠 真二（県立広島病院 救急科）

03-1 ネフローゼ症候群の治療中にサイトメガロウイルス腸炎の関与が示唆された大腸穿孔の一例
上山 晋也 島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座 島根大学医学部附属病院 高度外傷センター

03-2 演題取り下げ

03-3 当院で経験した重症熱性血小板減少症候群4症例の比較に基づく重症化リスク因子と初期対応についての検討
邊田 健一 島根県立中央病院 地域医療科

03-4 ヒトパレコウイルス感染による脳炎に血球貪食性リンパ組織球症に類似した病態を合併した新生児の1例
岩崎 祐亮 医療法人社団おると会浜脇整形外科病院麻酔科

03-5 演題取り下げ

03-6 演題取り下げ

03-7 腎機能に応じ用量調整を行ったにも関わらず発症したセフェピム脳症の一例
田中 健一郎 島根県立中央病院 救命救急科

03-8 演題取り下げ

一般演題4 教育関係

座長 八木 雄史（山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター）

04-1 救急救命研修所派遣者に対する派遣前教育について～教育部会の創設、その成果と課題～
別本 雅治 鳥取県西部広域行政管理組合消防局

04-2 カルタで学ぶ予防救急
中田 龍冴 岡山市消防局

04-3 介護職員のための“活かせる救急セミナー”をめざして
金尾 未来 地方独立行政法人府中市民病院機構府中市民病院

04-4 看護学校での JPTEC ファーストレスポnderコース導入への取り組みについて
乙宗 佳奈子 香川県立中央病院 救命救急センター

04-5 島根メディカルラリー10年の歴史、こどもラリー開催、今後の展望
日下 あかり 島根大学医学部附属病院 麻酔科

04-6 救助と医療の連携を目指した広島県の取り組み～救急救助ラリーin Hiroshima と CSRMBasicコース開催の報告～
日下 あかり 島根大学医学部附属病院 麻酔科

一般演題 5 病院前救急②

座長 力石 徹（雲南市消防本部 警防課）

濱見 原（愛媛県立中央病院 救命救急センター）

05-1 プレアライバルコールによる現場活動時間短縮と救急活動の効率化について
藤原 力文 岡山市消防局

05-2 他機関との連携により奏功した頻回救急要請者への対応について
森山 等 大田市消防本部

05-3 当院救急外来に受診した患者における救急相談センター利用の実態
瀬良 聡 広島市立広島市民病院 救急科

05-4 かかりつけ医療機関の存在について～救急隊の視点から考える～
稲富 崇司 岡山市消防局

05-5 地域における二次救急外来の看護師によるフィジカルアセスメントに基づく的確なバイタルサイン測定：後ろ向きコホート研究
芝原 啓子 雲南市立病院 看護部

05-6 演題取り下げ

一般演題 6 救急疾患；一般

座長 佐藤 格夫（愛媛大学 救急医学）

06-1 当院における急性期頭蓋内血管血行再建術についての現状と課題
日高 惟 JA 尾道総合病院 初期研修医

06-2 術前診断可能であった盲腸窩ヘルニアの1例
向山 賢 島根大学医学部附属病院卒後臨床研修センター

06-3 下部消化管穿孔に対して ABTHERA™ ドレッシングキットを使用し、ダメージコントロール手術を行なった1例
神戸 勝世 島根大学医学部附属病院 Acute Care Surgery 講座/高度外傷センター

06-4 ペンプロリズマブ投与中止後2年経過して発症した甲状腺機能低下症に伴うショックの1例
浅田 萌々子 広島市立広島市民病院 初期研修医

06-5 インスリン低血糖へのブドウ糖大量投与で腹痛・肝腫大を認めた1症例
小崎 吉訓 岡山大学病院 高度救命救急センター

06-6 愛媛県松山圏域中規模二次救急病院で新たに開設した高度治療室の運用の現状について
小田原 一哉 一般財団法人 永頼会 松山市民病院 救急科

一般演題7 CPA、他

座長 安田 康晴（広島国際大学 保健医療学部救急救命学科）
切詰 和孝（香川大学医学部附属病院 救命救急センター）

07-1 住宅における AED 到着の現状と解決策の考察
藤井 宏崇 出雲市消防本部

07-2 演題取り下げ

07-3 2016 年、愛媛県と全国の、一般市民により目撃された、心原性心停止傷病者の社会復帰率に関する検討
越智 元郎 南予地区メディカルコントロール協議会

07-4 小学生が救命の連鎖に関与した CPA 社会復帰症例について
佐々木 和子 広島市消防局

07-5 V-V ECMO と脳低温療法で救命しえた QT 延長症候群の 1 小児例
山下 高明 高知赤十字病院 救命診療部

07-6 惨事ストレスへの早期対応の重要性
瀧本 遼太 岡山市消防局

一般演題8 救急疾患；外傷

座長 山田 太平（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 救急外傷治療学講座）

08-1 かかり木による救急救助症例を経験して～当本部の取り組み～
日置 健二 安来市消防本部

08-2 救出困難なビル屋上での墜落現場から、はしご車及びドクターカーと連携し、救急搬送を行った一例について
赤瀬川 隆洋 広島市消防局

08-3 鉄道災害時における関係機関との連携について－JR職員及び医師と活動した人身事故の1例－
小立 泰宏 鳥取県西部広域行政管理組合消防局

08-4 待機的に髄液漏閉鎖術を行った動脈損傷を伴う開放性頭蓋骨陥没骨折の1例
桑原 正樹 福山市民病院 救急科

08-5 複数傷病者事象の経験をもとに、対策について検討したもの
山本 達也 安来市消防本部

08-6 脚立転落外傷(ladder-related fall injury)患者の単施設後方視的研究
佐藤 弘樹 島根県立中央病院 救命救急科

一般演題9 災害医療・メディカルラリー

座長 関 啓輔（社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院 災害管理室）

- 09-1 南海トラフ巨大地震に関する気象庁の臨時情報を災害医療計画にどう位置づけるか
越智 元郎 市立八幡浜総合病院救急・災害対策室
- 09-2 原子力災害時の活動に関する DMAT 隊員への意識調査より—日本 DMAT 隊員のおよそ 30%
（中四国では 458 人）が入院患者避難に関与できる
越智 元郎 市立八幡浜総合病院麻酔科・救急科
- 09-3 令和元年度総合防災訓練から見てきた災害時のドクターヘリ基地病院としての役割と課題
高橋 治郎 川崎医科大学 救急医学
- 09-4 島根メディカルラリー災害ブースにおける活動の検証 第1報
—時系列記録（クロナロジー）・傷病者一覧・トリアージタグより—
宇野 浩央 島根県浜田市消防本部
- 09-5 島根メディカルラリー災害ブースにおける活動の検証 第2報
—スタッフ・チャレンジャーアンケートより—
佐々岡 孝典 島根県浜田市消防本部
- 09-6 島根メディカルラリー災害ブースにおける活動の検証 第3報 —学生アンケートより—
岩本 典子 独立行政法人国立病院機構浜田医療センター 看護部

一般演題10 救急疾患；中毒・環境因子

座長 高橋 治郎（川崎医科大学 救急医学）

- 10-1 演題取り下げ
- 10-2 有機リン中毒による高度の循環変動に対して Mg の持続投与を行った一例
江崎 有亮 山口大学医学部附属病院先進救急医療センター
- 10-3 症状が遷延した重症有機リン中毒の一救命例
竹内 龍之介 島根県立中央病院 救命救急科
- 10-4 パラコート中毒を合併したチェンソーによる頸部切創の一例
安藤 彰俊 島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座
- 10-5 熱中症との通報でピットフォールに陥りかけた症例
正兼 唯志 広島市消防局
- 10-6 当院に搬送された入浴関連死症例の検討
浜崎 尚文 鳥取県立厚生病院 救急・集中治療室
- 10-7 演題取り下げ